

外国語教育メディア学会関西支部  
第5次（第2期）基礎理論研究部会 第41回研究例会開催のご案内

部会長 藪内 智（京都精華大学）  
副部会長 里井久輝（摂南大学）

◇日時： 2008年4月20日（日）例会：13:30-17:00

\*ただし、言語産出プロジェクトメンバーの方は11:00より実施いたします  
\*時間厳守でお願い致します。

◇場所： 摂南大学大阪センター

\*今回は、場所を変更しております。ご注意ください。

【アクセス】 <http://www.josho.ac.jp/corp/jigyoubu/osakacenter/index.html>

地下鉄西梅田駅から地下道を、左手にハービスプラザ、リッツカールトンを見ながら直進し（徒歩約5分）、ほぼ突き当たりを右側に曲がると「毎日（新聞）インテシオ」につながるエスカレーターがあります。2階からは、右側のエレベーターで3階に上がると大阪センターです。使用教室はD（304教室）です。

◇内容：

1. 輪読： 杉浦 香織（静岡文化芸術大学）

[文献] Kaschak & Borreggine (2008).

Is long-term structural priming affected by patterns of experience with individual verbs?  
*Journal of Memory and Language* 58, 862-878.

《休憩》

2. 研究発表： 森下 美和（神戸大学大学院）

[題目] 日本人英語学習者の発話に発話潜時の違いが及ぼす影響—復唱課題および自由回答式質問課題に基づく心理言語学実験—

（以上、敬称略）

◆ そのほか：課題

Picture description task で提示する文構造（統語構造）をまず考えてくる（例：POとDO、受動態と能動態、従属接続詞の位置—文頭か文中かなど）。また、刺激として提示できる絵もあれば持ち寄る。